



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年9月11日

上場会社名 リズム時計工業株式会社

上場取引所

東

コード番号 7769

URL <https://www.rhythm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平田 博美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 荒井 雄司

(TEL) 048-643-7241

四半期報告書提出予定日 2020年9月15日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,444	△21.7	△286	—	△213	—	△1,761	—
2020年3月期第1四半期	6,949	△4.7	15	△90.8	101	△53.1	71	2.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,837百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △318百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△213.25	—
2020年3月期第1四半期	8.66	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	35,521	23,885	67.2
2020年3月期	37,117	25,970	69.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 23,860百万円 2020年3月期 25,943百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,700	△18.2	△550	—	△460	—	△2,050	—	△248.17
通期	25,000	△16.4	△730	—	△500	—	△2,150	—	△260.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	8,385,093株	2020年3月期	8,385,093株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	124,731株	2020年3月期	124,682株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	8,260,360株	2020年3月期1Q	8,261,738株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来予測情報の適切な利用に関する説明）

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（その他特記事項）

当第1四半期連結会計期間よりセグメント区分の変更を実施したため、前連結会計年度の期首に当該セグメント変更が行われたものとし、各種数値を算定しております。詳細につきましては、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済活動は停滞し、加えて前年度から続く米中貿易摩擦は深刻度が高まるなど不安定な状況となりました。

国内の経済状況につきましても、緊急事態宣言による移動自粛の影響から経済活動も制限され景気は急速に悪化し、消費意欲が大幅に低下したほか企業の設備投資が抑制される非常に厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、2020年10月にリズム時計工業株式会社、リズム協伸株式会社及び東北リズム株式会社の3社合併を行い、収益力の強化と持続的な発展のため、合併による統合効果の最大化を目指してまいります。

売上高につきましては、世界的な経済活動の落込みにより、BtoC、BtoBとも受注が激減し、減収となりました。

営業利益につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を低減すべく費用の削減に努めましたが、受注減少の影響により営業損失となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は当社における希望退職者への早期退職費用により17億61百万円（前年同四半期比18億33百万円減）の四半期純損失となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を一部変更しており、前年同期比については、前年同期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組み替えて算出しております。

以上から業績は次の通りとなりました。

（単位：百万円）

		2020年3月期 第1四半期 連結累計期間	2021年3月期 第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	時計事業	2,077	1,776	△300	△14.5%
	接続端子事業	2,189	1,559	△629	△28.8%
	プレジジョン事業	2,597	1,878	△718	△27.7%
	その他	85	229	144	169.0%
	計	6,949	5,444	△1,505	△21.7%
営業利益又は営業損失(△)	時計事業	△116	△52	64	—
	接続端子事業	127	△23	△151	—
	プレジジョン事業	84	△90	△174	—
	その他	11	39	27	238.0%
	調整額	△91	△160	△68	—
	計	15	△286	△301	—
経常利益又は経常損失(△)	101	△213	△314	—	
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	71	△1,761	△1,833	—	

これらをセグメント別に見てみますと次のとおりです。

## ①時計事業

国内では、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言により、店舗の営業が自粛され、売上は非常に厳しい状況になりました。緊急事態宣言解除後は、売上も回復傾向にあり、特にUSBファンはご好評いただいておりますが、自粛期間中の売上高の落ち込みを埋めきれず減収、営業損失となりました。

海外では、新型コロナウイルス感染症の影響が収束に向かっている中国・東南アジア地域や経済活動を再開させた

米国では売上が戻りつつありますが、欧州・中東は依然として厳しい状況となっており、減収となりました。利益面では人員の最適化や物流の見直しを行い費用の効率化により改善が進んだものの、営業損失となりました。

これらの結果、時計事業全体では、減収、営業損失となりました。

#### ②接続端子事業

国内では、緊急事態宣言の前後から車載関連や家電向け端子類等の受注が全体的に落ち込みました。端子台の受注増加もありましたが国内全体では減収減益となりました。

海外では、中国市場は回復傾向にあります。東南アジア地域の二輪・四輪の需要が大きく落ち込んだ影響により受注が大きく減少し、減収となりました。利益面では人員体制の効率化等、受注減少への対策を実施しましたが、営業損失となりました。

これらの結果、接続端子事業全体では、減収、営業損失となりました。

#### ③プレジジョン事業

国内では、工作機械部品及び自動車関連部品の受注が大きく減少し、減収となりました。利益面につきましては、固定費削減等利益確保に努めましたが受注減少の影響により営業損失となりました。

海外では、ベトナムおよび中国での受注減少の影響で減収となりました。利益面につきましては、固定経費の低減策を進めましたが受注減少の影響により、営業損失となりました。

これらの結果、プレジジョン事業全体では減収、営業損失となりました。

#### ④その他

物流子会社が営業自粛の影響により物流量が減少し減収減益、物流以外の事業におきましては衛生商品の販売が好調に推移し増収増益となり、その他事業全体では、増収増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

総資産は355億21百万円となり、前連結会計年度末371億17百万円に比べて15億96百万円減少しました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ15億15百万円減少しました。固定資産は、のれんの減少等により、前連結会計年度末に比べ81百万円減少しました。

### (負債)

負債合計は116億36百万円となり、前連結会計年度末111億47百万円に比べ4億88百万円増加しました。流動負債は、1年内償還予定の社債の減少等により前連結会計年度末に比べ11億19百万円減少しました。固定負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ16億8百万円増加しました。

### (純資産)

純資産合計は、238億85百万円となりました。利益剰余金の減少等により前連結会計年度末259億70百万円に比べ20億85百万円減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期も、収束後の環境も不確実性が高く合理的な計画を立案することが困難なことから未定といたしておりました。今後の広がり方や収束時期等が依然として不透明なものの、2021年3月期の一定期間にわたり影響が継続することを前提に、当第1四半期連結累計期間の業績および今後の見通しと現時点で入手可能な情報に基づき、2021年3月期の連結業績予想を以下のとおり算定いたしました。

### (連結業績見通し)

売上高	25,000百万円 (前期比△16.4%)
営業利益	△730百万円 (前期比 — %)
経常利益	△500百万円 (前期比 — %)
親会社株主に帰属する当期純利益	△2,150百万円 (前期比 — %)

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,647	9,172
受取手形及び売掛金	4,340	3,113
電子記録債権	1,296	1,365
たな卸資産	6,909	7,025
その他	576	577
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	22,767	21,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,452	5,345
その他(純額)	4,470	4,545
有形固定資産合計	9,922	9,890
無形固定資産		
のれん	915	826
その他	222	228
無形固定資産合計	1,138	1,055
投資その他の資産		
投資有価証券	1,715	1,740
その他	1,664	1,671
貸倒引当金	△90	△89
投資その他の資産合計	3,289	3,322
固定資産合計	14,350	14,269
資産合計	37,117	35,521
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,878	2,212
短期借入金	525	531
1年内返済予定の長期借入金	67	459
未払法人税等	146	111
賞与引当金	173	189
役員賞与引当金	8	—
早期退職費用引当金	—	1,420
1年内償還予定の社債	2,000	—
その他	1,207	963
流動負債合計	7,007	5,887
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	73	1,692
退職給付に係る負債	581	569
その他	484	485
固定負債合計	4,139	5,748
負債合計	11,147	11,636

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	7,584	7,584
利益剰余金	4,860	2,851
自己株式	△274	△274
株主資本合計	24,543	22,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	41
為替換算調整勘定	1,287	1,188
退職給付に係る調整累計額	99	96
その他の包括利益累計額合計	1,400	1,326
非支配株主持分	26	24
純資産合計	25,970	23,885
負債純資産合計	37,117	35,521

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	6,949	5,444
売上原価	5,389	4,294
売上総利益	1,560	1,149
販売費及び一般管理費	1,544	1,436
営業利益又は営業損失(△)	15	△286
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	53	43
受取賃貸料	84	79
その他	18	19
営業外収益合計	158	142
営業外費用		
支払利息	10	11
出向費用	28	22
賃貸費用	24	29
為替差損	4	1
その他	3	4
営業外費用合計	72	70
経常利益又は経常損失(△)	101	△213
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	53	—
特別利益合計	53	1
特別損失		
固定資産処分損	0	0
投資有価証券評価損	—	7
早期退職費用	—	1,420
特別損失合計	0	1,428
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	154	△1,640
法人税、住民税及び事業税	80	73
過年度法人税等	—	62
法人税等調整額	2	△12
法人税等合計	82	123
四半期純利益又は四半期純損失(△)	71	△1,764
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	71	△1,761



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	71	△1,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132	28
為替換算調整勘定	△250	△99
退職給付に係る調整額	△7	△2
その他の包括利益合計	△390	△73
四半期包括利益	△318	△1,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△318	△1,834
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	時計事業	接続端子 事業	プレジ ジョン事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,077	2,189	2,597	6,864	85	6,949
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	3	18	24	156	180
計	2,080	2,192	2,616	6,888	241	7,130
セグメント利益又は損 失(△)	△116	127	84	95	11	107

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	95
「その他」の区分の利益	11
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△108
棚卸資産の調整額	14
四半期連結損益計算書の営業利益	15

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	時計事業	接続端子 事業	プレジ ジョン事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,776	1,559	1,878	5,214	229	5,444
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	154	158	133	291
計	1,780	1,559	2,033	5,373	363	5,736
セグメント利益又は損 失(△)	△52	△23	△90	△165	39	△126

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△165
「その他」の区分の利益	39
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△126
棚卸資産の調整額	△33
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△286

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

### 3. 報告セグメント変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「電子事業」は「プレジジョン事業」に統合しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に組み替えたものを表示しております。

(追加情報)

(早期退職費用)

当社は、2020年5月27日開催の取締役会において、希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。募集の結果、当第1四半期連結累計期間において、特別損失として1,420百万円を計上いたしました。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症については今後の広がり方や収束時期等が依然として不透明なものの、2021年3月期の一定期間にわたり影響が継続することを前提に、当第1四半期連結累計期間の業績および今後の見通しと現時点で入手可能な情報に基づき、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。